Ⅶ　採点・評価基準

【前期日程】

1　教科・科目等

教科・科目等［国語、数学、物理、化学、生物、地学、英語、楽典（「**入学者選抜の実施教科・科目等について**」(15～28頁）を参照のこと。)］については、学習到達度と本学で修学上必要な理解度を問います。

2　実技検査

次の教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース音楽・美術・保健体育で実技検査を課します。(実技検査の詳細については、「**教育学部の実技検査等**」(46～47頁）を参照のこと。)

⑴　学校教育教員養成課程中等教育コース音楽

ピアノ、声楽、聴音、その他の楽器（希望者のみ）を課し、音楽の基礎的能力と表現力・技術力をみます。

⑵　学校教育教員養成課程中等教育コース美術

「鉛筆による静物デッサン」を課し、美術の表現力に関わる基礎的資質と素描力・表現力・造形力をみます。

⑶　学校教育教員養成課程中等教育コース保健体育

実技検査種目をⅠ群（方向転換走、ハンドボール投げ）とⅡ群（球技、器械運動、武道）に分け、Ⅰ群は２種目を全員が、Ⅱ群は３種目の中から選択した２種目を実施し、基礎的な運動能力とそれぞれの運動技能をみます。

3　面接

次の学部・学科で面接を課します。

学部	学科・課程等			面接の形態			面接時間	評価事項
				個人面接	集団面接	面接員数		
教育学部	学校教育教員養成課程	初等教育コース	一般		○	2～3人	25分	学校の教員となることへの意欲、自分の考えや意見をまとめ、表現する力等を評価します。
		中等教育コース	国語		○	2～3	25	
			社会		○	2～3	25	
			英語		○	2～3	25	
			数学		○	2～3	25	
			理科		○	2～3	25	
			技術		○	2～3	25	
			家政		○	2～3	25	
			音楽		○	2～3	25	
			美術		○	2～3	25	
			保健体育		○	2～3	25	
		特別支援教育コース			○	2～3	25	
医学部	医学科			○		3	20	医療人としての適性及び能力をみます。
	保健学科		看護学専攻	○		3	7	
歯学部	歯学科			○		3	20	受験者に面接用資料を作成させ(40分)、それらに基づき面接を行います。面接では、歯科医療人としての適性(人間性や教養など) をみます。

⑴　受験者数により「面接の形態」、「面接時間」を変更することがあります。

⑵　教育学部における面接の形態は、討論を含めた集団面接です。

4　調査書

次の学部・学科等では、下表の評価事項に基づいて調査書を評価します。

学部・学科等	評　価　事　項
法文学部 全学科（全コース）	学習成績概評を評点化します。なお、調査書を提出できない者については、調査書に相当する書類又は大学入学共通テストの成績に基づいて評価します。
農学部 国際食料資源学特別コース （農学系サブコース）	出願要件と適合していること、高等学校での学修状況や生活状況が国際食料資源学特別コースの求める人材像から逸脱していないことを確認し、学習成績概評又は学習活動歴報告書を基に総合的に評価します。
農学部 農学科	出願要件と適合していること、高等学校での学修状況や生活状況が農学部の求める人材像から逸脱していないことを確認し、学習成績概評又は学習活動歴報告書を基に総合的に評価します。
水産学部　国際食料資源学特別コース （水産学系サブコース）	調査書における全体の学習成績の状況を評点化します。なお、調査書を提出できない者（高等学校卒業程度認定試験に合格した者（見込み含む）を含む）については、大学入学共通テストの成績に基づいて評価します。
水産学部 水産学科	調査書における全体の学習成績の状況を評点化します。なお、調査書を提出できない者（高等学校卒業程度認定試験に合格した者（見込み含む）を含む）については、大学入学共通テストの成績に基づいて評価します。
共同獣医学部 畜産学科	調査書又は学習活動歴報告書では、畜産学を学ぶうえで基盤となる基礎学力、主体的に学修を継続する姿勢、協調性等を総合的に評価します。

【後期日程】

1　小論文

次の学部・学科等で小論文を課し、それぞれ修学上必要な能力をみます。

学部・学科・課程等	評　価　事　項
法文学部 法経社会学科 地域社会コース・経済コース	社会の諸事象に関する文章などを読ませ、社会的な問題に対する関心や思考力、文章などの読解力ならびに論理的な説明能力をみます。
法文学部 人文学科 多元地域文化コース	人文科学を学習するうえで必要な批判的分析力、論理的思考力、表現力を問います。
教育学部 学校教育教員養成課程 初等教育コース（一般）、特別支援教育コース	広く人間や社会・文化などについて、思考力や表現力を問います。
医学部 医学科	社会や自然の諸現象について述べた課題文などを提示し、文章の読解力や論理的思考力、国語の表現力などをみます。
医学部 保健学科 理学療法学専攻、作業療法学専攻	人間の生命と社会・文化に関する課題文、資料、図表などを提示し、理解力、思考力、表現力、独創性などを問います。
農学部 農学科	農学を学ぶうえで必要な基礎学力ならびに理解力、論理的思考力、表現力、独創性などを問います。
水産学部 水産学科	水産学を学ぶうえで必要な基礎的事項に関する理解力、あるいはトピックス的なものに関する理解力ならびに考察力を問います。

2　面接

次の学部・学科等で面接を課します。

学部	学科等			面接の形態			面接時間	評価事項
				個人面接	集団面接	面接員数		
					人	人	分	
法文学部	法経社会学科 法学コース			○		2～3	15	あらかじめ受験者に申告書を作成させ、面接を行います。面接では、志望動機・将来の目標に加え、新聞などで報道された社会的諸問題を問い、学習意欲、社会の諸問題に対する関心の高さ、基礎的な表現力をみます。
教育学部	学校教育教員養成課程	初等教育コース	一般	○		2～3	10	学習意欲、社会への関心度および学校教育に対する意欲と適性等を評価します。
		特別支援教育コース		○		2～3	10	学習意欲、社会への関心度および特別支援教育に対する意欲と適性等を評価します。
医学部	医学科			○		3	20	医療人としての適性及び能力をみます。
	保健学科	理学療法学専攻			3	3	30	
		作業療法学専攻			3	3	30	
歯学部	歯学科			○		3	20	受験者に面接用資料を作成させ（40分）、それらに基づき面接を行います。面接では、歯科医療人としての適性（人間性や教養など）をみます。
工学部	全学科 (全プログラム)			○		2～3	5～10	志望動機、将来への目標などについて質問し、学習意欲等を評価します。
共同獣医学部	畜産学科			○		3	15	志望動機、将来への目標、畜産や食品に関わる事項を質問し、畜産学に対する興味や関心の高さ、学習意欲及び基礎的な表現力等を評価します。

⑴　受験者数により「面接の形態」、「面接時間」を変更することがあります。

⑵　「集団面接」欄の数字は受験者数です。

3　調査書

次の学部・学科等では、下表の評価事項に基づいて調査書を評価します。

学部・学科等	評価事項
法文学部 法経社会学科 地域社会コース・経済コース	学習成績概評を評点化します。なお、調査書を提出できない者については、調査書に相当する書類又は大学入学共通テストの成績に基づいて評価します。
法文学部 人文学科 多元地域文化コース	学習成績概評を評点化します。なお、調査書を提出できない者については、調査書に相当する書類又は大学入学共通テストの成績に基づいて評価します。
農学部 農学科	出願要件と適合していること、高等学校での学修状況や生活状況が農学部の求める人材像から逸脱していないことを確認し、学習成績概評又は学習活動歴報告書を基に総合的に評価します。
水産学部 水産学科	調査書における全体の学習成績の状況を評点化します。なお、調査書を提出できない者（高等学校卒業程度認定試験に合格した者（見込み含む）を含む）については、大学入学共通テストの成績に基づいて評価します。
共同獣医学部 畜産学科	調査書又は学習活動歴報告書では、畜産学を学ぶうえで基盤となる基礎学力、主体的に学修を継続する姿勢、協調性等を総合的に評価します。